

議第18号議案

最低賃金の引き上げと地域間格差の是正を求める意見書

最低賃金の引き上げと地域間格差の是正を求める意見書を、ふじみ野市議会会議規則第14条第1項の規定により提出します。

令和元年12月13日

提出者 ふじみ野市議会議員

伊 藤 美枝子

賛成者 ふじみ野市議会議員

小 高 時 男

塚 越 洋 一

鈴 木 啓太郎

ふじみ野市議会

議長 小林 憲 人 様

## 最低賃金の引き上げと地域間格差の是正を求める意見書

賃金の引き上げについて、政府は2016年に閣議決定した「ニッポン1億総活躍プラン」で、毎年3%程度の引き上げと、最低賃金全国加重平均1,000円の実現を明記しています。こうした方針は、経済財政運営と改革の基本方針である「骨太の方針」にも反映され、4年連続の「3%程度」アップにつながっています。

しかし、日本の最低賃金の水準は主要先進諸国と比べるとまだまだ低く、労働政策研究・研修機構の資料によると、2018年で英仏独などの6～7割程度にとどまっている現状です。暮らしを守るためにも、個人消費を喚起して成長と分配の好循環を拡大するためにも、最低賃金の引き上げと地域間格差の是正が欠かせないことは明らかです。一方で最低賃金の引き上げを巡っては課題もあり、特に大きいのは人件費の増加が中小企業の経営を圧迫するとの懸念です。そのため、経済情勢をよく精査し、バランスよく最低賃金の引き上げを目指す姿勢が求められています。

中小企業の体力、つまりは生産性の向上を後押しする支援策の一層の拡充と環境づくりをさらに推進し、最低賃金の引き上げと地域間格差の是正を強く求めます。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき意見書を提出します。

令和 年 月 日

埼玉県ふじみ野市議会

提出先

内閣総理大臣

厚生労働大臣

経済産業大臣